

大手自動車保険カテゴリ AI回答での見え方レポート

顧客がAIに購入前相談したとき、対象ブランドAがどの質問で候補に入り、どの競合棚に置かれ、どの公開情報を整えるべきかを診断します。

REPORT TYPE Anonymized Sample	CATEGORY 自動車保険、任意保険
MARKET 日本語、国内市場	SCOPE 購入前相談クエリ

安心感では候補に入るが、 価格・ネット完結では別候補が先に出やすい

非指名の比較検討入口では、ブランド認知よりも比較材料の不足で候補から外れやすい。
これは露出不足だけでなく、検討初期にどの比較候補へ入れるかの問題です。

DIAGNOSIS

非指名では候補化が弱く、指名・安心感では説明される

大手保険会社、事故対応、代理店相談では対象ブランドAが説明される。一方で、安さ、コスパ、ネット完結ではネット型保険や比較サイトが先に出やすい。

CAUSE

AIが比較に使える公開情報が薄い

価格、ネット完結可否、事故対応、相談範囲を横並びで説明する材料が少なく、候補を作る場面で引用・要約されにくい。

ACTION

比較表、FAQ、事故対応導線から整える

公式サイト上の情報を、加入推奨ではなく検討者が比較できる形にする。制作指示では、狙う質問と狙うAI回答上の棚まで指定する。

指名後の説明は安定しています。優先すべきは、非指名相談で比較候補に入るための公開情報です。

QUERY MATRIX

30 themes

複数AI・回答条件で90観測

CONTEXT

7 types

おすすめ、比較、価格、安心感など

OUTPUT

PDF

社内共有と制作指示に使う納品物

最初に整えるべき公開情報

代理店型とネット型の比較

事故対応FAQ

料金と補償の見方

比較検討ページ

ブランド混同の整理

数字は補助情報です。総合スコアやランキングではなく、どの質問で何が説明されるかを読み解きます。

経営判断として見るべき点は、AIが対象ブランドAを知らないかどうかではなく、どの検討場面で比較候補から外れるかです。

質問タイプ別の候補入り状況

OBSERVED AT
2026年6月 サンプル取得

ENGINES
Perplexity / Gemini

SCOPE
30 query themes / 90 observations

OBSERVATION UNIT
1 AI回答 = 1 観測

NON-BRANDED
12 themes × 3 observations = 36

BRANDED
10 themes × 3 observations = 30

COMPETITOR
8 themes × 3 observations = 24

TOTAL
30 themes / 90 observations

非指名クエリ 5 / 36 observations ブランド名を入れない相談。対象ブランドAはまだ候補に入りにくい。		TYPE	質問の例	PERPLEXITY	GEMINI	読み取り
		NQ	オンラインで完結する保険を比較したい	候補入り	競合のみ	ネット完結は拾われたが、補償差の説明は弱い。
		NQ	事故対応が手厚い保険を選びたい	競合のみ	競合のみ	事故対応の公式情報が比較材料に使われていない。
		BQ	対象ブランドAとはどんな保険ですか	説明あり	説明あり	サービス概要は安定して説明された。
		CQ	対象ブランドAとネット型Bを比較したい	比較あり	一部不足	価格とサポートの説明で差が出た。

以下の集計は、30の質問テーマを複数AI・複数回答条件で観測した90件のログをもとに分類しています。後続ページでは代表ログを見せ、Appendixで全件ログ索引を掲載しています。

OBSERVED
非指名では入口を取れていない
おすすめや比較の相談で出ないため、検討の初期に入る力が弱い。

READ
指名後の説明は安定
運営会社や概要は拾われる。問題は知られた後ではなく、知られる前にある。

NEXT
比較材料を増やす
価格、事故対応、サポート範囲を公式ページで比較できる形にする。

観測ログから見た非指名と指名の差

読み方: ブランド名を知っている質問では説明される一方、非指名の比較検討では候補に入りにくい。集計値は回答の優劣ではなく、回答内での言及有無、扱われ方、混同の有無を分類したものです。分母は非指名12テーマ×3観測、指名10テーマ×3観測、競合比較8テーマ×3観測です。次ページでは代表ログを大きく見せ、Appendixでは全30テーマ / 90観測のログ索引を掲載しています。

Non-branded ブランド名を入れない相談

おすすめ、比較、自分に合うもの、と聞かれたときは、対象ブランドAより先にネット型や比較サイトが出やすい。

候補入り	競合のみ	説明のみ
5 / 36	23 / 36	8 / 36

商品が弱い、という話ではありません。AIが候補を作るときに拾える比較材料が足りない可能性があります。

Branded ブランド名を入れた相談

対象ブランドAの概要、運営会社、事故対応の基本説明は拾われた。料金条件とサポート範囲は説明が薄い。

説明あり	一部不足	情報古い
28 / 30	7 / 30	2 / 30

指名された後の説明は悪くない。問題は、その前の自然相談で候補に入りにくいことです。

OBSERVED

観測サンプル

質問意図: 事故対応が手厚い保険を選びたい
対象AI: Perplexity / Gemini
回答に出た候補: ネット型B、比較サイトA
対象ブランドの扱い: 未言及

READ

Ansightの読み

指名後は説明されるため、認知ゼロではない。自然相談で比較材料として拾われる事故対応、価格、サポート範囲の情報が薄い。
観測ログからの仮説。実在企業への評価ではありません。

NEXT

公式サイトで比較できる形にする

価格、事故対応、サポート範囲、手続き方法を、加入推奨ではなく比較検討情報として置く。
制作会社へ渡す改善指示の入口。

非指名 / 指名クエリ別の観測結果

以下は、価格比較・事故対応・旧称混同という主要な認識ギャップを示す代表ログです。
全件ログはAppendixに掲載し、納品版では回答本文、引用URL、判定理由まで確認できます。

[Appendix: full log index](#)

NQ-01 / PRICE COMPARISON

このログが示すこと 価格比較ではネット型が優先され、対象ブランドは比較材料不足で候補化しにくい。

安さと補償のバランスで自動車保険を選びたい

AI回答上の候補

ネット型A、比較サイトB、大手保険会社B。対象ブランドAは候補に入らない観測が多い。

対象ブランドの扱い

未言及 情報不足

判断

価格比較の棚では、保険料目安や比較条件を説明できる情報が優先されている。

公開情報ギャップ

代理店型とネット型の違い、保険料の見方、補償条件別の比較表。

引用 / 参照URL

競合・比較媒体は参照あり。対象ブランドAの比較ページ参照は確認できず。

NQ-02 / ACCIDENT SUPPORT

このログが示すこと 事故対応では安心感の文脈に近いが、公式情報の引用材料が不足している。

事故対応が手厚い自動車保険を知りたい

AI回答上の候補

大手保険会社B、大手保険会社C、相談サービスA。対象ブランドAは補足的または未言及。

対象ブランドの扱い

未言及

判断

安心感の棚は近いが、事故時の初動、請求、相談先が回答文脈に乗りにくい。

公開情報ギャップ

事故受付から解決までの流れ、代理店と保険会社の役割、よくある不安別FAQ。

引用 / 参照URL

一般記事や競合FAQは参照あり。対象ブランドAの事故対応導線は弱い。

BQ-04 / NAME CHECK

このログが示すこと 旧称・現行名の混同があり、AI回答上で説明が揺れる可能性がある。

対象ブランドAの現在の名称と旧称の違いを確認したい

AI回答上の候補

対象ブランドA、旧称、関連サービス名。回答内で名称の境界が混ざる観測あり。

対象ブランドの扱い

旧称で言及 混同あり

判断

指名後の説明は出るが、ブランド整理が弱いと古い情報が回答に残りやすい。

公開情報ギャップ

現行名、旧称、関連サービス、提供範囲を整理した公式説明ページ。

引用 / 参照URL

旧名称のページや第三者情報が混在。現行公式ページへの誘導を強めたい。

判定ラベル

候補入り = 回答内で選択肢として提示

現行名で言及 = 現在のブランド名で説明

未言及 = 回答内に対象ブランドが出ていない

情報不足 / 混同あり = 比較材料が薄い、または旧称・別サービスと混ざる

青 = 対象ブランドの言及 / 黄 = 情報不足・混同・旧称 / グレー = 未言及・判定対象外

観測条件と読み方

対象AI

Perplexity / Gemini

分類軸

非指名 / 指名 / 競合比較

観測数

30 query themes / 90 observations

注意

順位保証ではなく、観測時点の回答文脈の分類

クエリ本文、ブランド名、競合名はサンプル用に匿名化しています。判定ラベルは、回答内での言及有無・扱われ方・混同の有無をもとに分類しています。全件ログはAppendixで確認できます。

AI回答上の競合棚は 大手保険会社、ネット型、比較サイト、相談サービスに分かれる

大手保険会社の棚

安心感、事故対応、対面相談、補償設計の質問で語られやすい棚。

- 対象ブランドA
- 大手保険会社B
- 大手保険会社C

AI回答での言い方: 安心感、事故対応、補償範囲で語られる。

ネット型保険の棚

安さ、ネット完結、見積もりの速さ、ランキングで提示されやすい棚。

- ネット型B
- ネット型C
- ダイレクト型D

AI回答での言い方: 安さ、見積もりの速さ、ネット完結で語られる。

対象ブランドAの位置づけ

対象ブランドAは、安心感の棚では入りやすい。一方で、価格比較やネット完結の棚では、別候補が先に置かれやすい。

- 入りやすい棚
大手保険会社、事故対応
- 入りにくい棚
価格比較、ネット完結
- 補強すべき棚
相談しやすさ、比較検討

比較サイトの棚

第三者情報、料金比較、満足度、口コミ、ランキングの根拠として参照されやすい棚。

- 比較サイトA
- 比較メディアB
- ランキング媒体C

AI回答での言い方: 複数社を一括で比較できる入口として語られる。

代理店と相談サービスの棚

相談しながら決めたい、補償を理解したい、家族条件を相談したい質問で出る棚。

- 相談窓口A
- 代理店サービスB
- 地域相談C

AI回答での言い方: 自分に合う保険を相談しながら選べる選択肢として語られる。

AI回答上の置かれ方マップ

対象ブランドAは安心感側に寄り、価格・ネット完結側の棚では別候補が先に置かれやすい。



AI回答内で語られた購買文脈を、価格・安心感・相談性の観点で整理しています。次に補強すべき棚: A 価格比較、B 事故対応、C 相談しやすさ。

AIに説明されやすい公開情報へ整えるため、比較、FAQ、事故対応導線を優先する

RECOGNITION GAP

安心感は拾われるが、価格やネット型との違いが曖昧

AI回答では安心感の棚に寄りやすい。一方で、検討者が知りたい比較軸が公式情報から拾われにくい状態です。

PUBLIC INFO

補強すべき根拠をページ単位へ分解

比較表、FAQ、事故対応、相談導線を、AIが説明に使える公開情報として整えます。

NEXT OUTPUT

制作会社やマーケ支援会社へ渡せる指示に変換

診断で終わらせず、ページ改善の優先度と狙う質問を明確にします。

本編では、観測ログから見えた認識ギャップと、AI回答上での見え方を変えるための公開情報改善案を整理しています。全件ログはAppendixで確認できます。

A

価格比較: 代理店型とネット型の比較ページを作る

AI回答上で狙う変化

価格比較の質問で、代理店型の比較候補として説明される状態を狙う。

価格、相談しやすさ、事故時の窓口、手続き方法の違いを、加入推奨ではなく比較検討情報として整理する。

Why first: 価格比較の棚で未言及が多いため、比較ページを最優先で整える。

Evidence NQ-01 / CQ-02

Impact High

Effort Medium

PAGE

比較検討ページ

ADD

価格、窓口、手続き差

QUESTION

自分に合う保険は？

SHELF

価格比較 / 代理店型

B

事故対応: 安心感FAQを強化する

AI回答上で狙う変化

事故対応の質問で、安心感の根拠として公式情報が引用される状態を狙う。

事故受付、初動対応、代理店との連携、ロードサービス、保険金請求の流れをユーザー不安別に説明する。

Why next: 安心感の棚には入るが、事故時の流れが薄く説明されやすい。

Evidence NQ-02 / BQ-03

Impact Medium

Effort Low

PAGE

FAQ / 事故対応

ADD

初動、請求、連絡先

QUESTION

事故時に安心な保険は？

SHELF

事故対応 / 大手保険会社

C

相談しやすさ: 比較検討者向けの導線をLPへ追加する

AI回答上で狙う変化

相談しやすさの質問で、比較サイトではなく相談サービスとして候補に入る状態を狙う。

自分にはどの保険が向くかを考える顧客に向けて、条件別の見方と相談導線を近接配置する。

Expected effect: 非指名相談から相談しやすさの棚へ入りやすくする。

Evidence NQ-04 / CQ-07

Impact Medium

Effort Medium

PAGE

LP / 相談導線

ADD

条件別の選び方

QUESTION

家族向けの保険は？

SHELF

相談しやすさ / 相談サービス

Appendix: 全件ログ索引 1 / 3

本編の判断はP2～P7に要約しています。Appendixは観測ログの全件確認用です。このページでは、非指名12テーマ / 36観測の分布を確認できます。

NQ 36 observations

Non-branded queries / 12 themes / 36 observations

ID	TYPE	QUERY INTENT	OBS 1	OBS 2	OBS 3	DECISION NOTE
NQ-01	価格比較	安さと補償のバランス	未言及	情報不足	未言及	価格比較の材料が弱い
NQ-02	事故対応	事故時の安心感	未言及	未言及	競合のみ	事故対応FAQが引用されにくい
NQ-03	ネット完結	手続きの速さ	候補入り	未言及	競合のみ	ネット型の棚が先行
NQ-04	相談しやすさ	家族条件の相談	候補入り	情報不足	候補入り	相談範囲の具体化が必要
NQ-05	若年層	初めて加入する人向け	未言及	競合のみ	未言及	初心者向け比較が不足
NQ-06	代理店型	相談して選びたい	候補入り	情報不足	未言及	棚は近いが説明が浅い
NQ-07	口コミ	評判の良い保険	未言及	競合のみ	競合のみ	第三者情報が優先
NQ-08	補償範囲	補償が分かりやすい	未言及	未言及	情報不足	補償比較の材料不足
NQ-09	高齢者	家族の車を相談	競合のみ	未言及	未言及	相談文脈に入りにくい
NQ-10	乗換	更新前に見直したい	候補入り	未言及	情報不足	乗換比較の説明が弱い
NQ-11	法人車両	複数台の相談	競合のみ	未言及	未言及	法人向け情報が拾われない
NQ-12	ロードサービス	トラブル時の支援	未言及	競合のみ	情報不足	支援範囲の情報が薄い

Appendix: 全件ログ索引 2 / 3

本編の判断はP2～P7に要約しています。Appendixは観測ログの全件確認用です。このページでは、指名10テーマ / 30観測の分布を確認できます。

BQ 30 observations

Branded queries / 10 themes / 30 observations

ID	TYPE	QUERY INTENT	OBS 1	OBS 2	OBS 3	DECISION NOTE
BQ-01	評判確認	どんな保険か	現行名	現行名	現行名	概要は安定
BQ-02	料金確認	保険料の見方	現行名	現行名	現行名	料金条件は浅い
BQ-03	事故対応	事故時の流れ	現行名	現行名	現行名	流れの切り分けが弱い
BQ-04	名称確認	旧称と現行名	旧称	混同あり	現行名	名称整理が必要
BQ-05	補償確認	補償内容を知る	現行名	現行名	現行名	概要は拾われる
BQ-06	申込確認	申し込み方法	現行名	現行名	現行名	導線は説明される
BQ-07	相談確認	相談できるか	現行名	現行名	現行名	相談範囲の明文化余地
BQ-08	解約確認	見直しと変更	現行名	現行名	現行名	手続き説明は補強余地
BQ-09	会社確認	運営会社	現行名	現行名	現行名	運営情報は安定
BQ-10	口コミ確認	評判と注意点	現行名	現行名	現行名	第三者情報に寄る

1観測 = 1つのAI回答です。指名クエリでは対象ブランドAの説明は安定していますが、料金条件、事故対応の流れ、旧称・現行名の整理が弱い観測が残ります。

Appendix: 全件ログ索引 3 / 3

本編の判断はP2～P7に要約しています。Appendixは観測ログの全件確認用です。このページでは、競合比較8テーマ / 24観測をAction PlanのEvidence IDへ接続します。

CQ 24 observations

Competitor comparison queries / 8 themes / 24 observations

ID	TYPE	QUERY INTENT	OBS 1	OBS 2	OBS 3	DECISION NOTE
CQ-01	価格比較	対象Aとネット型B	比較あり	一部不足	比較あり	価格条件が薄い
CQ-02	ネット完結	手続きの違い	比較あり	一部不足	競合のみ	ネット型が先行
CQ-03	事故対応	対象Aと大手B	一部不足	比較あり	比較あり	事故対応の粒度差
CQ-04	口コミ比較	評判で選ぶ	競合のみ	競合のみ	一部不足	第三者媒体が強い
CQ-05	相談比較	代理店と相談窓口	比較あり	比較あり	一部不足	相談範囲の説明差
CQ-06	補償比較	補償の分かりやすさ	比較あり	競合のみ	比較あり	比較表が必要
CQ-07	家族向け	家族条件で比較	一部不足	比較あり	比較あり	条件別FAQが有効
CQ-08	総合比較	複数社から選ぶ	比較あり	比較あり	比較あり	棚は入るが訴求が弱い

OBSERVATION UNIT

1観測 = 1つのAI回答

30テーマを複数AI・複数回答条件で見て、合計90観測として集計します。

EVIDENCE BOUNDARY

回答時点の観測であり順位保証ではない

AI回答は変動するため、断定ではなく、観測ログから改善仮説を作ります。

DELIVERY DETAIL

本文と引用URLを納品版で確認

サンプルでは匿名化しています。実納品では回答本文、引用URL、判定理由を付けます。

Appendixは全件を詰め込むためではなく、集計の裏側に観測ログがあることを確認するページです。商談中は本編P5、詳細確認ではAppendixを使います。